

コロナ禍により「まちナカ展示会」は開催中止、2020年度はレプリカ製作のみ行った チーム「なんで成羽でエジプトなん？」

活動の目的

高梁市成羽美術館所蔵の、日本最初期の貴重な歴史的資料であるエジプトコレクションの意義と価値を地元高梁市民、岡山県民に周知するとともに美術館・博物館に親しみを持ってもらうために館外活動も積極的に行う。

活動の内容及び経過

《まちナカ展示会「なんで成羽でエジプトなん？」》

美術館を飛び出し、街中の賑わいの中に突如エジプトコレクションを展示した「ミニ美術館」が現れる。普段美術館を利用しない人々にアプローチする「気軽にどこでも美術館」がコンセプトである。エジプトコレクションを介して直接学芸員や古代エジプトの専門家と気軽に対話できる場をつくる。

2020年度の活動については、当初「まちナカ展示会」を7～8月と11～12月の2回開催する予定にしていたが、コロナ禍により実施を断念。2021年度にコロナ禍でも開催可能な形式に変更し新たな取り組みとして、必要に応じてオンライン等を活用し安全対策を取りながら、対象を限定した出前授業を行なうこととした。本年度は授業内でも使用可能なレプリカ製作のみを行なった。

活動の成果・効果

【製作したレプリカ】

石膏…ミイラマスク2点、隼像（大）1点、隼神像（小）1点、隼神像（大）2点、神像レリーフ2点、シャブティ（小）4点、護符11点、ハヤブサレリーフ1点 計24点
3D…ハトホル女神の聖なる盾1点、トト神像1点、鳥小像1点 計3点

ファイアンス…シャブティ2点、皿1点 計3点

合計30点

2021年度はこれらのレプリカを使用し、必要な対策を取ったうえで出前授業を実施する予定。普段は館外には持ち出すことのできないエジプトコレクションの精巧なレプリカを多数製作したことで、美術館に来館したことのない人たちにもエジプトコレクションの魅力を直接感じてもらうことが出来るようになった。

今後の課題と問題点

- コロナウィルスの感染拡大により、以下の問題点が浮上した。
- ・街中で不特定多数の人々に向けたイベントの実施が困難になった。
 - ・県外移動が難しくなり、遠方メンバーの参加が困難になった。
 - ・個対個の対話型ワークショップを盛り込むことが困難に



《ハトホル女神の頭部のついた聖なる盾》レプリカ



《トト神座像》レプリカ



《人形棺マスク》レプリカ



《シャブティ》レプリカ

なった。

- ・小さな空間で、密接に近い距離でワークショップを行うことが困難になった。

- 代表者：碓京子 ●所在地：高梁市成羽町下原
- TEL：0866-42-4455 ●E-MAIL：k.kari@nariwa-museum.or.jp
- URL：https://nariwa-museum.or.jp
- 設立年：2019年 ●メンバー数：5名